茶ぐわ～ゆんたく

お茶を飲みながら、ぎのわんの歴史をのぞいてみませんか？ 172

地域の発展を見守り続けて

上の写真は、1966年頃の新城区画整理地区の様子で、現在の沖縄銀行辺りから新城方面を望んだものですが、辺りには建物がほとんどありません。この宜野湾市都市計画第二地区(新城区画)整理事業は、1965(昭和40)年4月から整地工事が始まり、5年の歳月をかけて1970(昭和45)年に完工しました。

▲完成間近の新城区画整理地区
1966(昭和41)年頃

下の写真は、現在の様子です。今では〝いすの木通り〟と呼ばれる商店街になっています。街路樹のイスノキは、1975(昭和50)年12月9日から1996(平成8)年1月10日まで本市の木に制定されていました。1981(昭和56)年には、普天間の沖縄銀行から新城区に通ずる営業所、事務所などを構える商工業者と家主、地主を含めた40人で組織する〝普天間いすの木通り会〟が発足しました。通り会は、通り地域の美化と清掃、通り会行事の開催、情報の収集などを通して商工業の発展を図るものでした。イスノキの並木通りは、今も地域の発展を見守り続けています。

【問合せ】
市立博物館 ☎870-9317

▲現在の通り(いすの木通り)
2018(平成30)年7月

はくぶつかんの部屋 46

宜野湾市の歴史や文化などを紹介します

市立博物館
イメージキャラクター
天女ちゃん

小さな視線のその先には

みなさんは幼い頃、虫かごを肩にかけ、虫取り網片手に外へ出て行った思い出などありませんか？最近では「猛暑」が続いている事もあり、なかなかその様子を見る事が少なくなってきているように感じます。

そこで、博物館では夏休み真最中という事もあり、面白い企画展が開催されています。その名も「『大』昆虫展 ―小さな虫の大きな世界―」です！

日頃、何気なく見ている「小さな」昆虫たちですが、実は私達「人類」よりはるかに長い歴史を持っていたり、人間の能力をはるかに超える面を持っていたりするのです。その「すごさ」について、実際に「見て」・「触れる」ことを通してお伝えしています。

そして今回、最大の目玉として、国の天然記念物にも指定されている「ヤンバルテナガコガネ」の標本を展示公開しています！日本最大の甲虫であり、普段は図鑑などでしか見られない「ヤンバルテナガコガネ」の実物(標本)が見られる機会はなかなかないと思いますので、この機会にぜひ、足をお運びください。

なお、7月から始まっている昆虫展ですが、まだご覧になっていない方は今すぐに、すでにご覧になった方も、期間中に一部資料の入れ替えを行っていますので、1度ならず2度・3度とお楽しみください！

【問合せ】
市立博物館 ☎870-9317

夏の企画展
「『大』昆虫展 ―小さな虫の大きな世界―」

日時：9月30日(日)まで (休館：毎週火曜日・祝日)
場所：市立博物館 企画展示室
入場：無料

▲ヤンバルテナガコガネ

▲展示の様子